

## 新しい年(「壬寅」・みずのえとら)を迎えて まちづくり協議会副会長 山口義武

弥生が丘地区の皆様、新しい年を迎えて気分一新で毎日をお過ごしと推察いたします。一昨年からのコロナ禍の中、弥生まちづくり協議会(以下まち協)は活動に制限がかかった状況のなかでも次のような地域への活動を行いました。

### 1) 『やよい夢ひろば』の整備

芝生の手入れ、山野草の庭の設置、側道の整備を行い「憩いの場」として利用していただいております。

### 2) コミセンの充実

県からの補助金(100万円)を活用し弥生コミセン内で利用する机、椅子、大型テレビなどを購入して弥生が丘地域の方々の住みよいまちづくりに貢献しています。

今年の干支は「寅」、そして「壬寅」(みずのえとら)と言われ「厳しい冬を越えて芽吹き始め新しい成長の礎になる」という意味があるそうです。これから少子高齢化が進行するなか、弥生地区の活性化、安全・安心で住みよい街づくりへのさらなる取り組みがまち協に与えられた役割と考え、継続事業や新規事業を自治会や他団体と協力して進めていきます。

新しいウイルス「オミクロン」も発見されて今年もコロナと付き合いながらの生活が続いていくことが予想されますが皆様のご健勝とご活躍をお祈りいたします。



4丁目児童公園より

## ～明るく住みよい安心・安全のまちづくりを～

### ① 『やよい夢ひろば』～誰もが安心して親しめる広場に～ まちづくり協議会会長 福井 裕



平成25年、弥生が丘コミュニティセンターには併設広場がない窮状を三田市に相談したところ、29年に市の未利用土地の活用として変電所横の1,500㎡を弥生まち協が利用できるようになりました。

この土地をコミセン広場として、文化活動やスポーツグラウンドとして地域交流の一役を担い、地震災害等発生時には防災広場として活用できるように企画しました。

兵庫県及び三田市の補助で整地や法面緑化事業、進入路や芝生張り、水道工事などのハード面の整備は概ね終了しました。今後はソフト面の改善に努め、当時の弥生小学校3年生の子どもたちがつけてくれた『やよい夢ひろば』という名前にふさわしい「誰もが安心して親しめる広場」になることを願って、現在利用規定を策定しています。

今日まで多くのボランティアの人たちに芝生の管理、山野草の植栽、木工、配管作業、広場の清掃など種々の作業にご尽力いただき深く感謝しています。

この度11月6日(土)、7日(日)に『弥生フェス2021』で『やよい夢ひろば』を利用した各種交流イベントに、子どもたちから高齢者まで多数の参加があり、まち協役員一同大いに感動しました。

『やよい夢ひろば』の維持管理に、引き続き地域の皆様のご協力をよろしくお願いいたします。



三田市では、災害対策基本法に基づく「避難行動要支援者名簿」を作成し、災害時の避難支援体制の確立を目指しています。これは大きな災害が発生した場合、自分の身は自分で守る「自助」が基本となりますが、公的な防災機関での対応にも限界があることから隣近所や地域で暮らす者同士、お互いに助け合う「共助」の基盤づくりを目指すものです。

弥生が丘自治会でも平成27年11月に三田市と標記の協定書を結んでいます。現在約90名の方が「避難行動支援者名簿」に登録をしておられますが、「災害発生時に地域に求められている支援（情報伝達、安否確認、避難支援）をお願いできる方（支援者）がいない」と困っておられる方がいらっしゃったことから昨年度、民生委員・児童委員が個別に訪問させていただき状況把握に努めました。その後自治会、老人クラブ等のお世話で支援者を紹介することができました。

今年度も「支援者がいない」という方をなくす取り組みを進めていますが、今後は災害発生時を想定した「共助」による支援体制づくりが必要になってきます。

となり近所に「声かけ（情報伝達、安否確認）や歩行時の補助（避難支援）を必要とされる方」がおられないか、関心をこれまで以上に高めていただき安心・安全のまちづくりが推進できますようよろしくお願いいたします。

生活環境部では、弥生が丘地域が環境の良い、快適で生活しやすいまち創りをめざし、様々な取り組みを実施しています。継続した取り組みや啓発活動等の結果、弥生のまち中から、ポイ捨てごみや不法投棄は、ほぼなくなりました。

以前から地域環境の課題となっていました「犬のふん放置」も「イエローチョーク作戦」の実施により、弥生のまち中で「犬のふん取り残し」は最近ほとんど見かけなくなりました。住民の皆様方のご理解と、ご協力に感謝申し上げます。

合わせて、持続可能な循環型社会の構築をめざし「ごみの分別、減量、再生資源化」の実践や「ごみ出しの利便性向上」をめざし、たえず現状のしくみの見直しを行い改善に努めています。



#### 【取り組みの事例】

- ・リサイクルデー時の古紙類等の回収：「拠点回収」から「戸別回収」へ⇒利便性の向上
- ・蛍光管の回収：令和2年3月より「コミセン回収」を開始⇒利便性の向上
- ・エコキャップ回収運動：わずか1個2.5gのエコキャップが、この10年間で積み重ねて累計回収量が2,000kg（2トン）になりました  
⇒途上国の子どもたちへのワクチン提供1,600本 焼却による二酸化炭素の発生減6.3ト  
※やよい幼稚園、弥生小学校、弥生が丘地域の皆さん、ご協力ありがとうございます
- ・12月のクリーンデー：7年前より「富士中生徒との合同クリーンデー」実施  
目的⇒清掃作業を通じ「地域と生徒との交流を図る」
- ・利便性の更なる向上、又高齢化社会に対応できる家庭ごみの出し方の検討⇒三田市と協議中  
※まずは、令和4年度からスプレー缶、カセットガスボンベの穴あけが不要になる予定  
⇒穴あけ時の爆発事故防止の為

## ★★子どもたちの笑顔を！～弥生 Fes2021～★★

例年夏に行われてきた「弥生ふるさとまつり」、コロナ禍のため昨年は中止を余儀なくされました。

今年はコロナ禍への不安があるなか、「コロナ禍の中で一番辛い思いをしている子どもたちの笑顔を見たいために、また子どもたちの笑顔が地域に広がり、その笑顔がきっと弥生のまちを以前のように元気にしてくれる（上野裕己 自治会イベント部長）」との願いで自治会主催の「弥生 Fes2021」が開催されました。

まち協も主催事業のメインである多世代交流バス旅行をコロナ禍で中止しており、「弥生 Fes2021」を自治会と共催しました。『やよい夢ひろば』で実施された催しの様子を紹介します。

### ★ 金魚・めだかすくい

〈老人クラブ 弥生会〉

今年は金魚約 300 匹、メダカ約 3,000 匹を用意しました。また、水草もたくさん準備しました。すくい放題だったので、20 匹から 30 匹ほどすくった子どもたちも多く、午前中には終了しました。

メダカの寿命は 2, 3 年です。暖くなる春にはメスは卵をたくさん産みますので、繁殖にチャレンジして下さい。繁殖のコツは、ネットで調べてね!!!  
(メダカ博士より)



### ★ 「よっちょれ～弥生節～」

〈弥生小学校 3, 4 年生〉



弥生小学校 3・4 年生 33 名が『やよい夢ひろば』で「よっちょれ～弥生節～」を披露しました。背中に好きな漢字を大きく描いた青と赤の法被をまとい、鳴子を精一杯ならしながら本番として 2 回踊りました。子どもたちは「運動会では人数制限があったから、見守りなどで毎日お世話になっている地域の方にも見ていただいて、元気を届けたい!!!」「久しぶりに仲間と踊れて楽しかった!!!」と嬉しそうでした。

### ★ 挑戦！やよいギネス

〈少年野球 弥生エース OB〉

6か所の障害物タイムレースは 1～6 丁目まで各 3 人ずつの対抗リレーで始まりました。小学生のみのチーム、30代から60代、また大人と小学生の混合チームなど、まさに地域のふれあいにふさわしいレースになりました。

また個人戦では全ての年代の男女が参加され、みんなが応援するなかパン食い用のパン 60 個が予定より早く消化するほど、和気あいあいと大いに盛り上がりました。



### ★ ノルディックウォーキング

〈自治会健康推進部〉



『やよい夢ひろば』から弥生が丘周辺、深田公園を通る約 3.5km を 36 名の方が元気に出発されました。

参加者は高齢者が多く、歩く速度が異なるため列も間隔があいてしまいましたが、4 人の指導員さんがそれぞれに付き添って下さり途中リタイアもなく、全員無事ゴールできました。参加者全員さわやかな汗をかき、身体も心もリフレッシュ出来て喜んでおられました。

### ★ スーパーボールすくい

〈やよい幼稚園〉

例年、弥生夏まつりに出店しています「スーパーボールすくい」ですが、今年は「弥生フェス」と協賛して行なうことになりました。

おじいちゃんやおばあちゃんと一緒に来た子どもたち等、約 150 名で賑わい、子どもたちの真剣なボールすくいに午前中でなくなるほど盛況でした。



地域の子どもたちと高齢者の交流を図る目的で老人クラブ 弥生会のグランドゴルフ部が、小学生の子どもたちにグランドゴルフの手ほどきをしました。

最初はなかなか苦戦していた子ども達もすぐに慣れてきて、中には「ホールインワン」を達成する子もいました。

毎週木曜日にオープン参加のできる練習会をしていますのでぜひ遊びに来てください。お待ちしております。



いつもはコミセンで行っている「歌ごえ広場」ですが、「弥生Fes」のイベントとして青空のもと『やよい夢ひろば』に椅子を並べて行いました。

時折強く吹く風に悩まされながらも司会者の巧みな話術もあり、ギターの伴奏にあわせ童謡など普段より大きな歌声が響き、楽しいひと時となりました。



### とんど焼 少年野球 弥生エースOB

正月飾りや書き初めなどを燃やし、1年の無病息災を祈る伝統行事「とんど焼き」を1月9日(日)に開催しました。地域の子どもたちからお年寄りまで約200人が参加されました。

この催しは、少年野球弥生エース OB 有志により毎年行っており、今回で6回目になります。

前日からコミセン駐車場に鉄板と砂を敷き、ブロックや稲わらと竹を使ってやぐらを設置し、午前9時45分に子どもたちと共に火入れをして、この1年の健康や安全を願いました。



参加された皆さんはコロナ禍のなか久しぶりに顔を合わされ、老人クラブ有志が腕によりをかけた「豚汁」や、「とんど」で焼いた「焼き芋」の振る舞いもあり楽しそうに会話をされていました。

### ふれあい喫茶

毎月第4火曜日にかけていた「ふれあい喫茶」は新型コロナウイルスの影響で昨年からは休業が続いていましたが「早く開いてほしい」と

の声を聞き、「弥生フェス」ではコミセン駐車場にテントを張って行いました。予想以上に多くの方の参加があり、「やはりカフェはいい、コーヒーだけでもいいので再開を！」との声を受けて、12月21日にいつものコミセン小会議室で久しぶりの「ふれあい喫茶」を開きました。

開店の10時前から懐かしい顔がみられ、スタッフ以外で30名以上の方がお見えになり、楽しいひと時を過ごされました。

お帰り際には「これからもよろしく！」との声もあり、今後についても検討していきます。

### ふれあい活動推進協議会



### 『日帰り研修バス旅行』 但馬大仏～余部鉄橋空の駅

昨年はコロナで中止となりましたが、今年は10月17日(日)に無事開催することができました。参加者32名、3密に気を配りながら秋の但馬へ!

午前中の目的地、川会山長楽寺で但馬大仏拝観。大仏殿の世界最大級の木造大仏を拝み、五重塔では最上階まで階段を上がり周辺の自然を一望。

楽しみの昼食は黙食でエネルギーを補給!

午後は余部鉄橋へ。日本海からの冷たい風の中、空と風の駅での眺望を楽しみ、帰りの途に就きました。楽しい一日でした。



### 老人クラブ・弥生会

弥生まちづくり協議会に対し、ご意見・ご提案をお待ちしています

投稿は「コミセン宛メール送信 (E-メール: Ya54278@xa3.so-et.ne.jp)」

「コミセン宛 Fax (562-0434) 住所、氏名、電話番号の記載をお願いいたします

